

日本医学ジャーナリスト協会 活動履歴 1990年～2017年3月

1990年度～1994年度 月例会・総会・見学会 一覧（敬称略、役職等は講演当時のものです）

1990年度	
1990年7月	シンポジウム「医療報道を考える」 講演「説明と同意」 慈恵医大学長 阿部 正和
1990年9月	公開討論会「脳死臨調を考える」 講演「米国大統領委員会の歩みに学ぶ」 早稲田大学教授 木村 利人
1991年度	
1991年3月	医学ジャーナリズムセミナー 「医学の Facts, Maybes, Rumor をどう考えるか」 ～がん予防を中心にして～ 予防がん学研究所長 平山 雄
1991年6月	月例研究会 「安楽死をめざして」 ～東海大学病院の安楽死事件をめぐる～
1991年9月	研究会「患者権利宣言とジャーナリズム」 弁護士 鈴木 利廣
1991年10月	見学会「諏訪中央病院」 ～医療現場から見た医療福祉～
1991年11月	セミナー「がん告知患者へのサポート」 講師：ノース・メモリアル・メディカルセンター S・アンダーソン
1991年11月	見学会「くすり博物館」(岐阜県川島町) ～目で見るくすりの歩み～
1992年度	
1992年3月	研究会「いま、なぜ戦後医療史なのか」 みさと健和病院 上林 茂暢

1992年5月	特別講演「やぶにらみ現代医療考」 医療ジャーナリスト 永井 明
1992年7月	研究会「北欧・西欧—医療福祉の旅から」 大熊 由紀子(朝日新聞論説委員) 研究会「地球サミットを取材して」 NHK 解説委員 小出 五郎
1992年9月	賛助会員との懇親会 「最新のニュースをめぐる」
1992年11月	見学会「新しい聖路加病院」 ～全人的医療をめざすデザイン～
1992年11月	研究会「爆発前夜のエイズ」 塩川 優一(順天堂大学名誉教授) NHK ディレクター 池田 恵理子
1993年度	
1993年4月	見学会「天本病院」(東京多摩市) ～地域に密着したライフケア～
1993年4月	研究会「NRSA 院内感染の原因と対策」 帝京大学医学部教授 紺野 昌俊
1993年5月	特別報告「ターミナルケアを考える」 岩井 まつよ(信越放送ディレクター) 新生病院内科医長 内坂 由美子
1993年11月	研究会「欧米のホスピス視察報告」 NHK エデュケーショナルディレクター 大野 善三
1993年11月	見学会「新生病院」(長野県小布施町) ～命の水際を支えて～
1993年12月	研究会「岐路に立つ病院経営」 河北総合病院長 河北 博文
1994年度	
1994年2月	研究会「大学病院のあり方」 東大医学部教授 黒川 清
1994年3月	研究会「尊厳死の現状」 日本尊厳死協会理事長 沖 種郎
1994年4月21日	「新対がん10カ年計画」及び「がんの遺伝子治療」 国立がんセンター研究所所長 寺田 雅昭
1994年5月28日	特別講演会「免疫をめぐる話題」 前東京大学医学部免疫学教室教授 多田 富雄

1994年9月20日	「エイズ教育」「SAC(ストップ エイズ キャンペーン)の活動について」 日本医科大学医療管理学助教授 兼日本病院会ストップ エイズキャンペーン 企画委員会委員長 高柳 和江
1994年10月28日	「医療福祉の再検証について」 厚生省老人保健福祉局長 阿部 正俊
1994年11月18日	「ルーマニアにおける小児エイズの実態と生薬治療 重症エイズ症からの回復における生薬治療の価値」 谷クリニック 谷 美智士
1995年2月16日	「臨床薬理の倫理と論理」 東京医科歯科大学難治疾患研助教授 津谷 喜一郎
1995年3月16日	「24時間巡回介護の実践報告」 株式会社コスムン代表取締役社長 榎本 憲一 在宅事業部長 松永 喜久枝

1995年度～1999年度 月例会・総会・見学会 一覧（敬称略、役職等は講演当時のものです）

1995年度	
1995年5月27日	特別講演「ガン告知のすすめ方」 国立がんセンター病院外科医長 笹子 三津留
1995年6月23日	「在宅ケアは自然流で」 日本ホスピス・在宅ケア研究会事務局長 梁 勝則(医師)
1995年8月23日 (仙台部会)	「脳磁波－脳研究への展開」 東北大学医学部教授 吉本 高志 「児童生徒のアレルギー実態調査：北海道と日光の比較検討」 都立荏原病院耳鼻咽喉科医長 三邊 武幸
1995年10月7日 (5周年記念講演会)	特別講演「キュアとケア」 元東京大学医学部解剖学教授 養老 孟司 パネルディスカッション「どう実現、患者の QOL(生活の質)」 新生病院内科医長 内坂 由美子 医療法人・協仁会・小松病院院長 横浜甞生病院・名誉ホスピス長 谷 莊吉 「日経サイエンス」編集長 中村 雅美 朝日新聞編集委員 秦 洋一

1996年2月9日	「癌検診を見直す」 慶応大学医学部放射線科講師 近藤 誠
1996年度	
1996年5月18日	特別講演「薬害エイズ問題と今後の医療・医薬品行政の改革について」 聖マリアンヌ医大難病治療センター長、参議院議員 水島 裕
1996年6月20日	「医薬分業」 日本薬剤師会常務理事 秋葉 保次
1996年9月19日	「らい予防法廃止の経緯及びその周辺」 国際医療福祉大学学長、藤楓協会理事長、元厚生省医務局長 大谷 藤郎
1996年10月23日	「地域医療の理想を目指して」 利尻島国保中央病院前院長 西野 徳之
1996年11月28日	「感染症の問題について」 国立国際医療センター研究所長 竹田 美文
1997年2月28日	ダウン症の医療と出生前検査」 愛児クリニック院長 飯沼 和三
1997年3月28日	「遺伝子治療とウィルスベクター開発の最前線」 日本医科大学第二生化学教室教授 島田 隆
1997年度	
1997年4月24日	「病理医の役割」 日本病理医協会元会長・現顧問 石河 利隆
1997年5月31日	特別講演会「国民病としての糖尿病の問題点」 東京女子医科大学名誉教授・同大前糖尿病センター所長 大森 安恵
1997年6月20日	「痛み管理の最前線」 東京大学医学部麻酔学教室教授 花岡 一雄
1997年8月27日	仙台部会 「国際医療貢献活動の日本へのフィードバック」 厚生省国際医療センター国際協力局 国井 修 「鼻アレルギーは直るか？ 中国での疫学調査からのフィードバック」 東北大学大学院医学系研究科留学生 由 山栄
1997年10月23日	慶応義塾大学医学部国際医学研究会 第20次南米派遣団活動報告」 慶応義塾大学医学部整形外科講師 松本 秀男 医学部6年生 山上 淳、吉武 明弘、岩波 明生
1997年11月28日	国際基準に合った医療を——徳洲会病院の地域医療」 医療法人徳洲会理事長 徳田 虎雄
1998年1月27日	「医療と報道」 東京女子医科大学消化器病センター 教授 高崎 健

1998年2月18日	「ヘリコバクター・ピロリと胃がん」 北海道大学医学部第3内科教授 浅香 正博
1998年3月28日	「医療廃棄物の行方と問題点」 (株)医療廃棄物研究所所長 渡辺 昇 東海大学医学部教授 堤 寛
1998年度	
1998年4月16日	「最近の医事関連訴訟の実態と傾向ならびに 臨床現場でのインフォームド・コンセント — いま・改めて・なぜ」 浅井産婦人科クリニック院長 浅井 賢
1998年5月28日	特別講演「免疫学の最先端と健康」 順天堂大学医学部免疫学講座教授 奥村 康
1998年6月20日	「医療ジャーナリストとは何か？」 米国クリーヴランドクリニック財団編集部長 トーマス・ラング
1998年7月9日	「外科手術におけるロボティクスの応用」 慶応義塾大学医学部外科学教室 大上 正裕
1998年7月27日	見学会「日本医科大学高度救命救急センター」
1998年9月22日	「非配偶者間体外授精について」 諏訪マタニティクリニック 根津 八紘
1998年10月8日	「看護婦を取り巻く環境の変化について」 聖路加国際病院副院長 井部 俊子
1998年11月26日	「チャプレンの役割について」 東京女子医大糖尿病センター チャプレン 斎藤 武
1999年1月28日	「医療ジャーナリズムに望むこと」 榊原記念病院長 細田 瑛一
1999年2月12日	「人は歳をとるとなぜ骨が脆くなるのかー骨粗しょう症について」 昭和大学歯学部長 須田 立雄
1999年3月25日	見学会 新装なった『国立がんセンター』(築地キャンパス新棟)
1999年4月15日	見学会 新装なった『国立がんセンター』(築地キャンパス新棟)
1999年度	
1999年4月26日	「癌と慢性ウイルス感染症エイズ:その治療戦略」 熊本大学エイズ学研究センター長 原田 信志
1999年5月26日	「アレルギーと遺伝子」 ウェールズ大学助教授 白川 太郎
1999年6月9日	「カルテの開示、5年目の実績」 島津メディカル・クリニック院長 島津 盛一

1999年7月3日	見学会「医療法人社団みつる会 上川病院」
1999年9月10日	「クローン技術—どこまでできているか。どこまで許されるか—」 日本経済新聞社編集局科学技術部編集委員 中村 雅美
1999年10月22日	「自己治癒力と心身医学」 国立精神・神経センター精神保健研究所心身症研究室 川村 則行
1999年11月26日	「死別体験支援」 米国「死別体験の子供や家族のナショナルセンター」 トレーニングディレクター ホワイト・シンシア
2000年1月19日	参議院議員 武見 敬三 「医療改革をめぐる3つのアプローチ」 新年名刺交換会
2000年2月25日	「美容外科の真相」 北里大学 名誉教授 塩谷 信幸

2000年度～2003年度 月例会・総会・見学会 一覧（敬称略、役職等は講演当時のものです）

2000年度	
2000年4月20日	「医学教育と臨床研修:21世紀への課題」 東海大学医学部長 黒川 清
2000年5月26日	「未来医療とヘルスケア・パーク」 東京女子医大名誉教授 桜井 靖久
2000年6月28日	「米国の医療事故対策—日本へのアドバイス」 ハーバード大学医学部教授 李 啓充
2000年7月4日	「国境なき医師団(MSF)の活動について」 帝京大学医学部第1外科 捨田利 外茂夫
2000年7月26日	見学会「葉山ハートセンター」 院長(心臓外科医) 須磨 久善(湘南鎌倉病院名誉院長) 事務長代行 中村 光男

2000年9月22日	「アトピー性皮膚炎—不適切治療の実態と被害」 金沢大学医学部皮膚科教授 竹原 和彦
2000年10月31日	「人は誰でも間違える—より安全な医療システムを目指して」 創立10周年シンポジウム 講師 井部俊子、黒川 清、森 功、李 啓充(司会 大熊由紀子)
2000年11月07日	「臨床法医学からみた児童虐待—児童虐待防止のための病院の試み—」 杏林大学医学部法医学教室教授 佐藤 喜宣
2001年1月25日	「ゲノム研究の現在と今後」 理化学研究所 ゲノム科学総合研究センター 所長 和田 昭允
2001年2月23日	「薬を正しく使うために—薬剤疫学の確立」 京都大学大学院教授 福島 雅典
2001年3月28日	見学会「理化学研究所ゲノム科学総合研究センター」
2001年度	
2001年4月25日	「日本の医療保険財政」 日医総研 主任研究員 前田 由美子
2001年5月18日	「21世紀の医学・医療」 自治医科大学学長 高久 史麿
2001年6月25日	「インターネットが変える医療」 国立国際医療センター内科医長・情報システム部長 秋山 昌範
2001年7月27日	「日本のCROの現状と課題」 (株)シミック代表 中村 和男
2001年9月	「事例に見る医療過誤訴訟の問題点—医師・弁護士の立場から」 慶應大学医学部外科学講師・弁護士 古川 俊治
2001年10月	「日本を世界の創薬研究の競技場」 日本製薬工業協会会長 永山 治氏
2001年11月	「医療事故防止対策—看護業務の実態調査から」 嶋森好子氏 日本看護協会 前常任理事 労働科学研究所 前所長 酒井一博氏
2001年11月	見学会「ハートピアきつれ川」 (財)全国精神障害者家族会連合会経営 温泉つき宿 泊施設」(栃木喜連川市)
2002年1月	特別講演「医療制度改革・医師会の立場と意見」 日本医師会常任理事 青柳 俊氏
2002年2月	「現場医師がイメージする医療制度改革と問題点」 中澤堅次氏 済生会宇都宮病院副院長 埼玉県済生会栗橋病院副院長 本田 宏氏

2002年3月	「21世紀の内科学に求められるもの・目指すもの」 東海大学医学部長 黒川 清氏
2002年度	
2002年4月	「母体血清マーカーと英国での政策決定過程の議論」 英国リーズ大学医学部生殖疫学教授 カックル博士
2002年4月	見学会「医療と福祉の複合体—医療法人つくばセントラル病院と社会福祉法人若竹会」(茨城県つくば市)
2002年5月	特別講演「21世紀の精神医学」 東北福祉大学大学院教授 佐藤 光源
2002年6月	「医療のTQM協議会」について 東北大学大学院医学系研究科教授 上原 鳴夫 東京大学大学院工学系研究科教授 飯塚 悦功
2002年7月	「薬剤師が見たアフガン難民キャンプ報告」 日本薬剤師会 町田 容造 武政 文彦
2002年9月	「社会文化としての医療」 国際基督教大学教授 村上 陽一郎
2002年10月	「米国におけるマネジドケアの現状と世界的な看護職不足」 ヘルスケアジャーナリスト・作家 スザンヌ・ゴードン
2002年11月	「EBMの基礎となる「国際疾病分類コードICD」について」 NPO 法人日本コーディング協会理事長 菊池 優子
2002年11月	見学会「国立成育医療センターとマクドナルド・ハウス」(東京世田谷)
2003年1月28日	特別講演「21世紀の医学技術の方向、医療ジャーナリストに望むこと」 神戸市立中央市民病院院長 京都大学前総長・京都大学名誉教授 井村 裕夫
2003年2月	「アルツハイマー病治療薬の現状と未来」 エーザイ(株)創薬第一研究所所長 杉本 八郎
2003年3月	「救急救命医療の現状と今後」 東海大学医学部総合診療学系救命救急医学、助教授・同医学部付属病院救命救急センター 山本 五十年
2003年度	
2003年4月14日	見学会「亀田メディカル・センター」(千葉県)
2003年6月24日	「セカンド・オピニオン」と「ドクハラ」 がんフリーピア・土屋病院外科部長 土屋 繁裕

2003年7月17日	「病院事業管理者として見た病院経営について」 埼玉県病院事業管理者 武 弘道
2003年8月19日	仙台移動例会 見学「宮城県立こども病院」
2003年8月26日	見学会「長岡西病院ビーハラ長岡」(新潟)
2003年9月26日	「精神科医はシャーロック・ホームズたれ <日本うつ病学会> 設立へ」 昭和大学 教授 上岡国利
2003年10月29日	「スペシャルオリンピックスの魅力」 NPO 法人「スペシャルオリンピックス日本」理事長 細川佳代子
2003年11月21日	「日本予防医学会について」 金沢大学大学院 環境生態医学 教授 荻野景規
2004年1月23日	「細胞医学の進歩と将来」 岐阜大学長 黒木登志夫
2004年2月20日	「水が支える21世紀の医療・環境・生活一進む電解技術の応用」 国際医療福祉大学附属熱海病院 教授 北洞哲治 国立感染症研究所 生物活性物質部第四室 室長 堀田国元
2004年度	
2004年4月	見学会「やわたメディカルセンター」(石川県小松市)
2004年4月1日	「医療政策の課題」 東京大学先端科学技術研究センター客員助教授 近藤正晃ジェームス
2004年5月	特別講演会「臨床研修の義務化について」 東海大学病院研修医 市村公一氏
2004年6月30日	「画像医療技術の発展と医療機器産業の課題」 社団法人日本画像医療システム工業会 会長 桂田 昌生
2004年7月27日	「がん予防への挑戦」 国立がんセンター がん予防・検診研究センター長 森山 紀之
2004年9月18日	当協会編著『あなたのための がん用語事典』出版記念 公開シンポジウム「セカンド・オピニオン」 パネリスト ・垣添 忠生(国立がんセンター総長) ・埴岡 健一(セカンド・オピニオンネットワーク発起人) ・中澤 幾子(乳がん体験者、アイデアフォー世話人) ・松井 寿一(胃がん体験者、医療ジャーナリスト) コーディネーター ・大熊 由紀子(医療ジャーナリスト・国際医療福祉大学大学院教授)
2004年10月29日	「日本の医療制度の問題と大学病院改革」 東京大学医学部付属病院院長 永井 良三

2004年11月25日	「消費者が動かす米国の医療サービス市場」 広島国際大学医療経営学科教授 岡部 陽二
2005年1月13日	「オーダーメイドの医療を実現するためには・・・」 理化学研究所遺伝子多型研究センター長 豊島 久真男
2005年2月28日	「医薬品、医療機器をめぐる環境と薬事法改正」 厚生労働省大臣官房審議官 黒川 達夫
2005年3月22日	「生命倫理を根付かせた30年 さよなら講演」 京大名誉教授 星野 一正
2005年度	
2005年4月	見学会「癌研究会 有明病院」(東京・有明)
2005年5月	特別講演会「医療ジャーナリズムへの注文」 臨床心理学者・文化庁長官 河合隼雄氏
2005年6月24日	「臨床試験はどう進められるか」 東京大学教授 大橋 靖雄
2005年7月26日	シンポジウム「小児科医の自死を乗り越えて」 —医師も子どもも被害者、その悲劇をなくすシステムを求めて— 中原 のり子、豊田 郁子、東京女子医大教授 中澤 誠
2005年9月21日	「日本のこれからの医療制度を考える」 大阪大学大学院経済学研究科教授、内閣府経済財政諮問会議委員 本間 正明
2005年10月	見学会「日本心臓血圧研究振興会附属 榊原記念病院」(東京・府中)
2005年10月14日	「日本の心臓血管外科の現状を考える」 国立循環器病センター総長 北村 惣一郎
2005年11月14日	「いま、看護師の世界で起こっていること」 社団法人日本看護協会会長 久常 節子
2006年1月17日	「ドイツで考えたこと」 上智大学名誉教授 アルフォンス・デーケン
2006年2月15日	「日本のジェネリック医薬品について」 日本ジェネリック研究会・理事 池田俊也
2006年3月16日	「乳がんの新しい治療法について」 医療法人プレストピア 理事長 難波清

2006年度～2012年度 月例会・総会・見学会 一覧（敬称略、役職等は講演当時のものです）

2006 年度	
2006 年 4 月 24 日	06.04.24 厚生労働省 審議官 辻 哲夫氏 「医療制度改革 変わったこと、変わらなかったこと」
2006 年 5 月 17 日	06.05.17 独立行政法人国立病院機構 理事長 矢崎義男氏 「国立病院の独立行政法人化後、2 年が経過して」
2006 年 6 月 05 日	06.06.05 認知症専門・言語聴覚士、(英国) ジャクリーン・キンデル氏 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会 前理事長 金子芳洋氏 通訳:重松加代子氏 「認知症における摂食・嚥下障害と QOL 改善について」
2006 年 7 月 28 日	06.07.28 見学会 よみうりランド慶友病院およびよみうりランドクリニックモ ール」
2006 年 9 月 12 日	06.09.12 神奈川県看護協会 安井はるみ氏 奥野総合法律事務所 飯田英男弁護士(関東学院大学法学部教授 「医療現場の暴力を考える」
2006 年 10 月 18 日	06.10.18 医療 IT 推進協議会 会長 田中 博氏 医療 IT 化~世界の情勢・日本の問題点」
2006 年 11 月 04 日	06.11.04 公開シンポジウム「患者の安全と看護のいま～医療の現場から ～」 聖路加看護大学学長 井部俊子氏 筑波記念病院 副院長・看護部長 柏木とき江氏 フジテレビ解説委員、「報道 2001」キャスター 黒岩祐治氏 済生会宇都宮病院院長、医療制度研究会代表幹事 中澤堅次 厚生労働省医政局看護課長 野村陽子氏 医療翻訳家・患者家族 早野真佐子氏 北野病院看護部長 松月みどり氏 国際医療福祉大学大学院医療福祉ジャーナリズム分野教授大熊由紀子 氏
2006 年 11 月 17 日	06.11.17 見学会 静岡県立 静岡がんセンター
2007 年 1 月 29 日	07.01.29 賀詞交歓会・懇親会 ゲスト講演 山崎光夫氏 「貝原益軒の養生訓について」
2007 年 3 月 05 日	07.03.05 国際医療福祉大学・高邦会グループ理事長 高木邦格氏 「医療界の風雲児が語る、医療の課題と未来」
2007 年 3 月 15 日	07.03.15 日本短期滞在外科手術研究会代表世話人 執行友成氏 「開業医による日帰り・短期滞在型手術について」

2007 年度	
2007 年 4 月 03 日	07.04.03 東京女子医科大学名誉教授 太田和夫氏 「腎移植はどこまで可能か？」
2007 年 4 月 20 日	07.04.20 社会システム・デザイン研究所所長 横山禎徳氏 「社会システム・デザインによって超高齢社会の問題を解決する」(仮)
2007 年 5 月 23 日	「高齢化社会の社会保障の行方」千葉大学法経学部 教授 広井良典氏
2007 年 6 月 05 日	シンポジウム「医療訴訟は医療ミス削減に寄与するのか」 ロバート・ウッド・ジョンソン財団 ローズマリー・ギブソン 氏 明治法科大学院教授 鈴木利廣氏 医療事故市民オンブズマン・メディア 阿部康一氏 大和成和病院院長・心臓外科部長 南淵明宏氏 日本医学ジャーナリスト協会会員 伊藤隼也氏
2007 年 7 月 11 日	07.7.11 「医療変革時代を乗り越えるために:米国の失敗から学ぶ」 コラムニスト、元ハーバード大学医学部助教授 李 啓充氏
2007 年 9 月 13 日	「細胞シートを用いた再生治療:日本発のテクノロジー創出を目指す 早稲田大学・東京女子医科大学融合大学院」 東京女子医科大学先端生命医科学研究所 所長 岡野光夫氏
2007 年 10 月 11 日	歯科医・日大客員教授、スエーデン・マルメ大学名誉博士 熊谷 崇氏 「歯をいつまでも健康に、虫歯ゼロを目指す歯科医師のお話」
2007 年 11 月 15 日	07.11.15 アステラス製薬共同会長・日本製薬工業協会会長 青木初夫氏 「日本の製薬産業が直面する課題、そして免疫抑制剤開発の話」
2008 年 2 月 18 日	公開シンポジウム「医薬品・医療機器の規制システムに求められる革新」 基調講演 東京女子医科大学教授 笠貫 宏氏 国際薬事リサーチャー 三枝 治氏 日本経済新聞編集委員 中村 雅美氏 癌と共に生きる会副会長 海辺 陽子 医薬品医療機器総合機構安全管理監 川原 章氏 日本製薬工業協会薬事委員長 石井 庸一氏 米国研究製薬工業協会技術委員長 小林 利彦氏 ACCJ 医療機器・IVD 小委員会薬事委員長 児玉 順子氏
2008 年 3 月 21 日	08.03.21 四国がんセンター病棟部長 住吉 義光氏 「がんの補完代替医療について」
2009 年度	
2009 年 4 月 12 日	「ケアの社会学」 上野千鶴子氏(東京大学大学院人文社会系研究科教授)
2009 年 5 月 23 日	シンポジウムの開催 公開シンポジウム「医学ジャーナリストを問う—衰退する検証力と発信力」 パネリスト: 秋元秀俊(ジャーナリスト・編集者) 阿部文彦(読売新聞社会保障部記者)

	<p>田中秀一(読売新聞医療情報部部長) 田辺 功(医療ジャーナリスト、元朝日新聞編集委員) 鳥集 徹(ジャーナリスト) 中村雅美(日本経済新聞編集委員) モデレーター:水巻中正(国際医療福祉大学大学院教授、元読売新聞 社会保障部長)</p>
2009年6月25日	<p>「臓器移植の問題について」 篠崎尚史氏(東京歯科大学市川総合病院角膜センター長)</p>
2009年7月31日	<p>「ドイツの医療制度改革について」 土田武史氏(早稲田大学商学部教授)</p>
2009年9月25日	<p>「日本のワクチン事情について」 三瀬勝利氏(独立行政法人医薬品医療機器総合機構顧問)</p>
2009年11月6日	<p>「新しい医学教育とチーム医療」 北島政樹氏(国際医療福祉大学学長)</p>
2009年11月18日	<p>見学会の開催 東京女子医科大学・早稲田大学連携 「先端生命医科学研究教育施設(略称TWIns)」 岡野光夫(東京女子医科大学先端生命医科学研究所長) 梅津光生(早稲田大学先端生命医科学センター長) 笠貫 宏(早稲田大学理工学部教授)</p>
2009年12月3日	<p>「皮下脂肪に存在する幹細胞が再生医療の救世主となるか」 落合孝広氏(国立がんセンター研究所がん転移研究室室長)</p>
2010年2月23日	<p>「人口臓器の現在—とくに人工心臓の開発について」 巽英介氏(国立循環器センター研究所人工臓器部部长)</p>
2010年3月26日	<p>「医療過誤に対する各国の取り組み」 上原鳴夫氏(東北大学大学院医学系研究科国立保健学分野教授)</p>
2010年度	
2010年1月23日	<p>シンポジウムの開催 公開シンポジウム「第二回 医学ジャーナリストを問う—医療界からのメッ セージ」 医療界パネリスト:安藤高朗(医療法人社団永生会理事長) 亀田信介(亀田総合病院院長) 本田 宏(埼玉県済生会栗橋病院副院長) メディア界パネリスト:井深太路(読売新聞社会部児長) 大牟田 徹(朝日新聞科学医療グループエディター) 斗ヶ沢秀俊(毎日新聞科学環境部部长) モデレーター:水巻中正(国際医療福祉大学大学院教授)</p>
2010年4月21日	<p>「Team STEPPS—アメリカ最新のチーム医療トレーニングプログラムにつ いて」 国立保健医療科学院・政策科学部安全科学室長 種田 憲一郎氏</p>

2010年7月22日	「エビデンスに基づいたがん検診とは」 国立がんセンターがん予防・検診研究センター検診研究部部長 齊藤博氏
2010年9月21日	「新高齢者医療制度の行方」 目白大学教授・元毎日新聞社副論説委員 宮武剛氏
2010年10月15日	見学会の開催 初台リハビリテーション病院
2010年10月22日	「ナース・プラクティショナーについて」 大分県立看護科学大学学長 草間朋子氏
2010年11月15日	「医薬品クライシス—もう新薬は生まれない!？」 東京大学大学院理学系研究科広報担当特任助教 佐藤健太郎氏
2010年1月26日	「男性医学について—男をもっと知ってほしい—」 札幌医科大学名誉教授・日本 Men's Health 医学会理事長 熊本悦明氏
2010年2月14日	「がんの免疫療法とワクチン療法」 医療法人社団混志会 瀬田クリニックグループ理事長 後藤重則氏
2011年度	
2011年4月16日	緊急公開シンポジウム 4月16日(土) 「大地震でジャーナリスト、医療者はどう動いたか—被災地からのレポート」 パネリスト:安藤高朗氏(医師、永生病院理事長) 柳川忠廣氏(日本歯科医師会常務) 池谷千尋氏(看護師、キャンパス焼津代表)ら 前野一雄氏(読売新聞編集委員) 穴澤鉄男氏(仙台在住、元河北新報記者)ら モデレーター:水巻中正(国際医療福祉大学大学院教授) 田辺 功(医療ジャーナリスト、元朝日新聞編集委員)
2011年6月23日	「大阪の救急医療と救急医療の地域格差」 大阪府千里救命救急センター心血管内治療室室長 伊藤賀敏氏
2011年7月15日	「乳がん治療の現状」(仮) 医療法人 圭友会渡辺医院 浜松オンコロジーセンター長 渡辺 亨氏
2011年9月14日	「都民のための地域医療の推進を目指して」 東京都医師会 会長 野中 博氏
2011年11月17日	「わが国の小児医療の現状と問題点:予防接種を中心に」 東京大学大学院医学系研究科小児医学講座小児科教授 五十嵐 隆氏
2011年12月13日	「アルツハイマー病(認知症)の新しい治療法について」 順天堂大学大学院 認知症診断・予防・治療学講座教授 田平武氏
2012年2月7日	「高齢先進国モデル構想と実証」 医療法人社団鉄祐会祐ホームクリニック 理事長 武藤真祐氏

2012年3月6日	「国立病院機構の挑戦と応戦—国民の側に立つ新法人に向けて」 独立行政法人国立病院機構 理事長 矢崎義雄氏
2012年度	
2012年4月25日	「病理検査における匠の世界」 —正確な病理検査を支える標本作製の現状と問題点— NPO法人病理技術研究会理事長 末吉徳芳氏
2012年6月25日	「うつ病と認知症の根本治療法の開発に向けて」 独立行政法人理化学研究所脳科学総合研究センターチームリーダー 加藤忠史氏
2012年7月25日	「在宅医療のための低容量腹膜透析とモバイル・システム」 東京慈恵会医科大学附属病院 腎臓・高血圧内科 准教授 横山啓太郎氏
2012年9月15日	公開シンポジウム「医療事故報道を検証する」 パネリスト: 出河雅彦氏(朝日新聞編集委員) 佐藤一樹氏(いつき会ハートクリニック院長) 永井裕之氏(医療の良心を守る市民の会代表) コーディネーター: 田辺 功(日本医学ジャーナリスト協会副会長) 秋元秀俊(日本医学ジャーナリスト協会幹事)
2012年11月26日	「ボストンから見た日本の医療制度とこれからの医療のあり方」 星槎大学共生科学部教授・東京大学医科学研究所病院非常勤講師 細田満和子氏
2013年1月28日	「現在の認知症と介護の問題点」 精神科医・作家 和田秀樹氏
2013年2月21日	「東日本大震災から得た組織の危機管理—原発事故への対応を通して」 公立学校法人 福島県立医科大学 理事長兼学長 菊地臣一氏
2013年3月21日	「がんのリハビリテーション～がん共存時代の新医療～」 慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室専任講師 辻哲也氏

2013年度～2016年度 月例会・総会・見学会 一覧（敬称略、役職等は講演当時のものです）

2013年度	
2013年4月15日	「医療保険財政安定化を見すえた疾病管理の取り組み」 森山美智子氏（広島大学医歯薬保健学研究院応用生命科学部門教授）

2013年5月30日	総会 特別講演会 「今後の日本の医療制度について」 秋葉賢也氏（厚生労働省副大臣）
2013年6月26日	「一途一心、命をつなぐ」 天野 篤氏（順天堂大学医学部心臓血管外科教授）
2013年7月31日	「開発途上国に蔓延する感染症の制圧を目指して — 日本初の官民パートナーシップ基金誕生」 B.T. スリングスピー氏（一般社団法人グローバルヘルス技術振興基金 GHIT Fund 専務理事）
2013年9月20日	キッコーマン総合病院見学会
2013年10月2日	「ALS 療養者のコミュニケーション支援について」 中野今治氏（都立神経病院院長） 上原喜光氏（ALS 療養者コミュニケーション支援委員会会長）
2013年10月22日	第2回 日本医学ジャーナリスト協会賞 発表・授賞式・記念シンポジウム
2013年11月26日	公開シンポジウム 「薬の報道とジャーナリズムの役割—バルサルタン論文不正事件を機に」 桑島 巖氏（厚労省高血圧症治療薬の臨床研究事案に関する委員会委員、 臨床研究適正評価教育機構（J-CLEAR）理事長） 隈本邦彦氏（江戸川大学メディアコミュニケーション学部教授） 浅井文和氏（朝日新聞編集委員） コーディネーター 秋元秀俊、大西正夫（日本医学ジャーナリスト協会幹事）
2014年1月28日	新年賀詞交歓会 ゲスト講演「日本の医療制度改革に物申す」 幕内雅敏氏（日本赤十字社医療センター院長）
2014年2月28日	「日本一医師不足の埼玉—日本医療崩壊の真相をキューバに見た」 本田 宏氏（埼玉県済世会栗橋病院院長補佐）
2014年3月30, 31日	第2回被災地取材ツアー

2014年度	
2014年4月24日	「高齢化と個別化医療・持続可能な医療保険制度への道」 中村祐輔氏（シカゴ大学医学部血液・腫瘍内科教授）
2014年5月26日	総会 特別講演会 「日本の医療危機の真実—いまこそ求められる医療制度改革」 南 和友氏（北関東循環器病院院長、ドイツ・ポツダム大学胸部・心臓・血管外科永代教授）

2014年6月30日	「日本病院史から見た日本の医療の変遷」 福永 肇氏（藤田保健衛生大学医療科学部医療経営情報学科教授）
2014年7月23日	「在宅医療—訪問診療、訪問看護を通して、充実した人生を」 太田秀樹氏（医療法人アスミス理事長）
2014年8月27日	「福島相双地区における心のケア—自殺者の問題をどう考えるか」 丹羽真一氏（NPO 相双に新しい精神科医療保健福祉システムをつくる会理事、福島県立医科大学名誉教授）
2014年9月24日	「網膜色素変性症を知る、治療の最前線を知る」 山本修一氏（千葉大学大学院医学研究院眼科学教授、千葉大学付属病院長）
2014年10月17日	「3大感染症—エイズ・結核・マラリアの制圧を目指して」 国井 修氏（世界エイズ・結核・マラリア対策基金（グローバルファンド）戦略投資効果局長）
2014年10月27日	第3回 日本医学ジャーナリスト協会賞 発表・授賞式・記念シンポジウム
2014年12月12日	合同フォーラム [科学ジャーナリスト会議と共催] 「医療ビッグデータ その可能性と課題」 今中雄一氏（京都大学大学院医学研究科医療経済学分野教授） 阿部博史氏（NHK 報道局社会番組部ディレクター）
2015年1月28日	新年賀詞交歓会 ゲスト講演 「超高齢社会における医学・医療～健康長寿を目指して」 井藤英喜氏（東京都健康長寿医療センター長）
2015年2月27日	「災害とトラウマ、PTSD～」 金 吉晴氏（独立行政法人国立精神・神経医療研究センター 災害時こころの情報支援センター長）
2015年3月25日	「今、日本から始まるがん撲滅への挑戦—切らずになおす脳転移： ガンマナイフ治療最前線」 林 基弘氏（東京女子医科大学脳神経外科・ガンマナイフ治療室長）

2015年度	
2015年4月22日	「プライマリ・ケアとは？～地域包括ケアにおける家庭医・総合医の役割」 亀谷 学氏（医療法人財団天翁会あいクリニック中沢 院長）
2015年5月20日	総会 特別講演会 「医療事故調査の現状(モデル事業)と新たな医療事故調査制度について」 木村壮介氏（日本医療安全調査機構中央事務局長）

2015年7月9日	「変わる遺伝子医療」 古川洋一氏（東京大学医科学研究所臨床ゲノム腫瘍学分野教授）
2015年8月5日	「日本医療研究開発機構のミッションと展望」 末松 誠氏（国立研究開発法人日本医療研究開発機構理事長）
2015年9月29日	「超高齢社会の社会保障のあり方」 森田 朗氏（国立社会保障・人口問題研究所所長）
2015年11月6日	第4回 日本医学ジャーナリスト協会賞 発表・授賞式・記念シンポジウム
2015年12月5日	公開シンポジウム「新時代の医学教育を考える」 伊東 洋氏（東京医科大学元学長・理事長） 奈良信雄氏（東京医科歯科大学医学部特命教授） 伴 信太郎氏（名古屋大学大学院医学系研究科長） 矢崎義雄氏（国際医療福祉大学総長） コーディネーター 松井宏夫（日本医学ジャーナリスト協会副会長）
2016年1月27日	新年賀詞交歓会 ゲスト講演「がん医療はどこに向かうのか」 堀田知光氏（国立がん研究センター理事長）
2016年2月10日	「住み慣れた地域で暮らし続けるために～訪問看護と暮らしの保健室の取組みから」 秋山正子氏（㈱ケアーズ 白十字訪問看護ステーション暮らしの保健室室長）
2016年3月11日	「高齢社会における保健医療分野の3つのパラダイムシフト論の真贋の検討— 平成26・27年度医療政策会議報告書」 二木 立氏（日本福祉大学学長）

2016年度	
2016年4月27日	「ユマニチュードの哲学・技術・科学—人間中心の認知症情報学によるEBCの深化」 竹林洋一氏（静岡大学大学院総合科学技術研究科教授）
2016年5月20日	総会 特別講演会「地域包括ケアシステムにおけるかかりつけ医の役割」 横倉義武氏（公益社団法人日本医師会会長）
2016年7月27日	「今、なぜ尊厳死が必要か—終末期医療の現状と課題—」 岩尾總一郎氏（一般財団法人日本尊厳死協会理事長）
2016年8月19日	見学会 南東北 BNCT(ホウ素中性子捕捉療法)研究センター(郡山)

2016年9月30日	「笑い与健康—疫学研究が示す健康長寿の条件とは」 近藤尚己氏（東京大学大学院医学系研究科公共健康医学専攻 健康教育・社会学分野准教授）
2016年11月7日	第5回日本医学ジャーナリスト協会賞 発表・授賞式・記念シンポ ジウム
2016年12月9日	「感染症とは何か—その脅威から子宮頸がんワクチンまで現在の 日本の 問題を読み解く」 岩田健太郎氏（神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講 座教授・神戸大学都市安全研究センター教授）
2017年1月24日	新年賀詞交歓会 ゲスト講演 「体のなかのリサイクル～特にオートファジーについて」 水島 昇氏（東京大学大学院医学系研究科分子生物学分野教 授）
2017年2月28日	「20年を迎えた臓器移植法—移植医療の現状と課題」 門田守人氏（公益社団法人日本臓器移植ネットワーク理事長）
2017年3月30日	「24歳でがんを経験して～がんになっても自分らしく生きられる社 会へ～」 鈴木美穂氏（NPO マギーズ東京共同代表・理事）

出版物

<p>★ 日英文対象で「権利宣言」と「倫理要綱」集—協会の編集 で出版 『患者の権利宣言と医療職の倫理綱領集』 日本医学ジャーナリスト協会編 興仁舎＝電話・FAX:03-5669-8386 価格＝2200円＋税</p>	
<p>★ 『あなたのためのがん用語事典』(文春新書) 日本医学ジャーナリスト協会編 国立がんセンター監修 文藝春秋 価格＝税込 998円</p>	